

足利高校の新校舎整備について（実施設計）

令和 4（2022）年 2 月 3 日 教育委員会事務局総務課

1 設置計画

- (1) 概 要：第二期県立高等学校再編計画に基づき、令和 4（2022）年度に足利高校と足利女子高校を統合共学化し開校
- (2) 新 校 名：栃木県立足利高等学校
- (3) 学 科 等：全日制普通科（1 学年 6 学級 240 名）
- (4) 特 色：進学に重点を置く単位制を導入

2 整備計画

- (1) 整備予定地 足利市有楽町（足利女子高校敷地及び足利市民会館敷地等） 約 40,000 m²
- (2) 設計委託業者 A I S 総合設計株式会社
- (3) 設計方針

① 特色ある学校づくりを推進するための施設

進学に重点を置く単位制の特色を十分に発揮できるよう、少人数授業や多様な選択科目の授業に対応できる講義室や、科目選択などのガイダンス機能の充実に必要な大講義室を整備。また、バスケットボール 4 面を配置できるアリーナを備えた体育館を整備。

② 生徒の主体的な学習活動を支援するための施設

生徒の自主的・自発的な学習を促すため、図書館と連携した自習室を整備するとともに、新学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」を支える ICT 機器を整備。

③ 快適性やユニバーサルデザインに配慮した施設

中央吹き抜け部分にハイサイドライトを設け、採光通風を確保して快適な空間を整備するほか、各フロアにバリアフリートイレを整備。

④ 安全性を備えた施設

校舎中央部を吹き抜けとし、校舎南側と北側に各教室を配置して見通し良くするとともに、浸水被害を最小限に抑えられるよう職員室等を 2 階に配置するほか、キュービクルを屋上に設置。

⑤ 時代の要請に柔軟に対応できる施設

将来の教育内容の変化等に対応した配置や、施設の長寿命化を考慮した施設を整備。

⑥ 環境に配慮した施設

再生可能エネルギーの導入や木材利用など、環境負荷の低減に配慮した施設を整備。

⑦ 景観に配慮した施設

校舎中央部吹き抜けのソフィアコートの壁面に足利銘仙をイメージさせる伝統色を使用

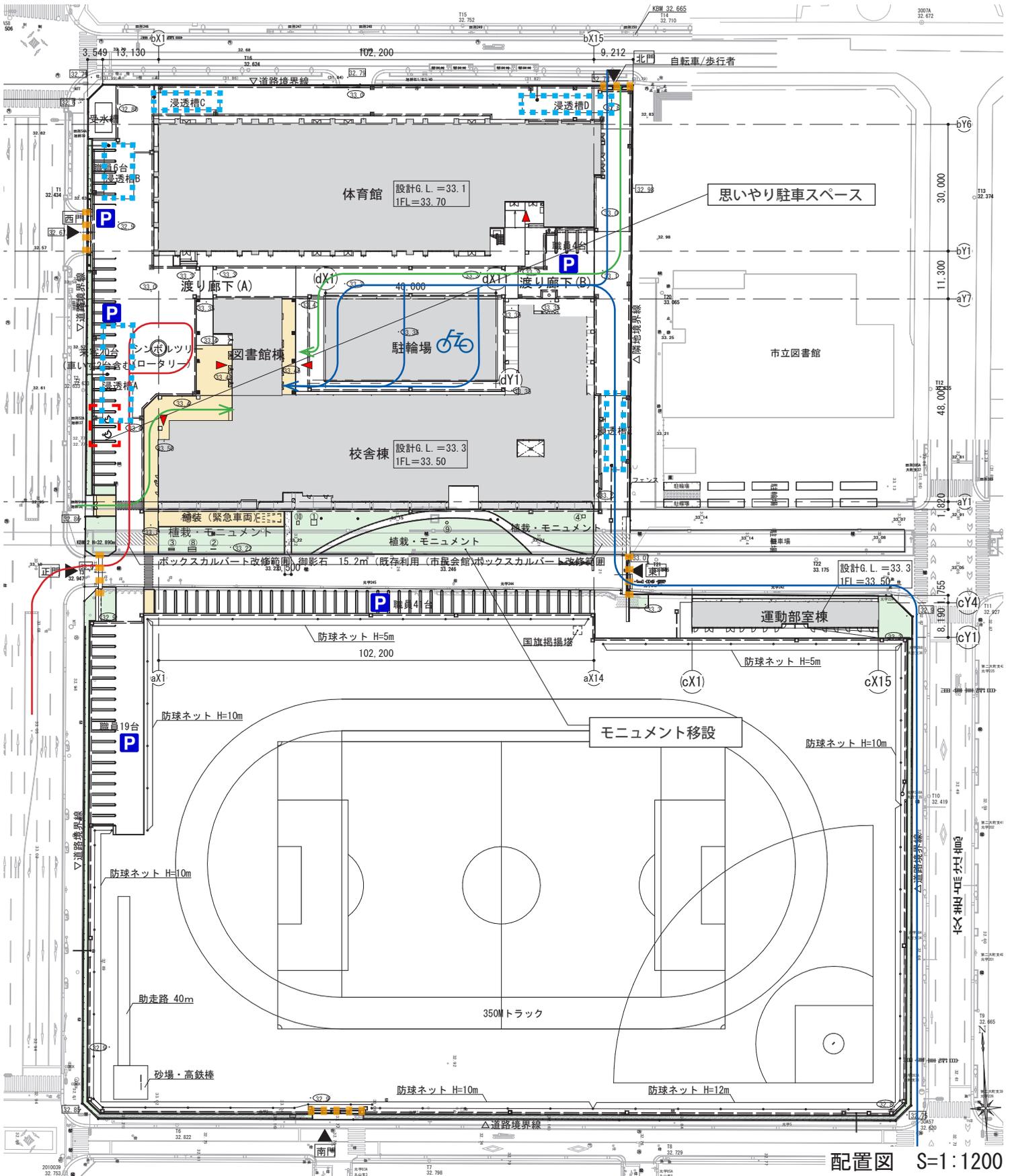
(4) 建築物延床面積等

項 目	構造	階数	延床面積
校 舎	R C 造	3 階	8,862.82 m ²
体育館、武道場	R C 造一部 S 造	一部 2 階	2,887.67 m ²
運動部室棟	W 造	1 階	292.80 m ²
駐輪場	S 造	1 階	768.00 m ²
計（実際の延床面積は 12,385.15 m ² であり、一部外部の面積を含む）			12,811.29 m ²

(5) 整備スケジュール

区分	年度					
	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	
仮校舎整備(現足利高校) ・校舎改修工事 ・仮設校舎賃借	設計	設計・工事	工事 新校開校			解体
既存施設解体 ・足利市民会館 ・足利女子高校校舎	設計	設計	設計・工事			
新校舎整備 ・建築工事 ・外構工事		基本・実施設計	設計	工事	工事	移転

栃木県立足利高等学校新校舎新築工事



配置図 S=1:1200

■配置・動線計画

校舎は敷地内の北側に集約配置し、南側をグラウンドにしています。歩行者、自転車、自動車の動線を明確に分離し、分かりやすく安全でコンパクトな動線計画としています。

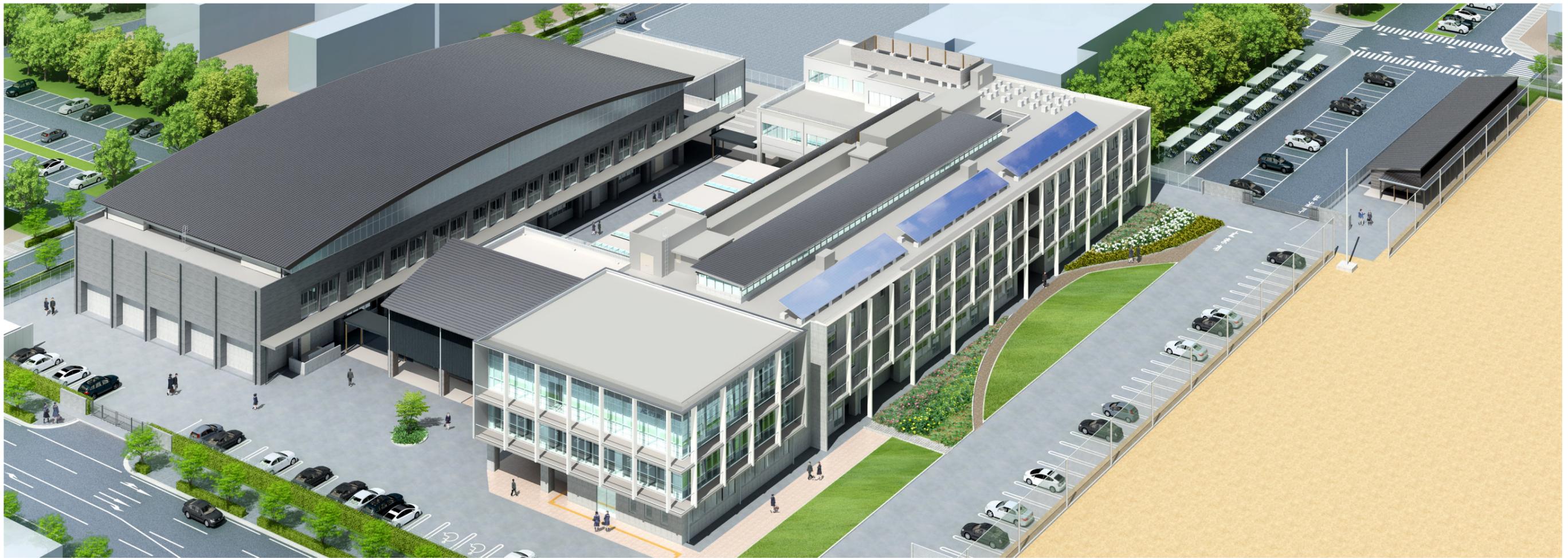
〈駐車台数〉

職員	: 70台
来客	: 20台
計	: 90台

〈凡例〉

	: 自動車動線		: 思いやり駐車スペース
	: 歩行者動線		: 門扉
	: 自転車動線		: 歩行者エリア
	: 雨水浸透槽		: 植栽帯

栃木県立足利高等学校新校舎新築工事



【鳥瞰イメージ】



【校舎 南側立面イメージ】



【体育館 北側立面イメージ】

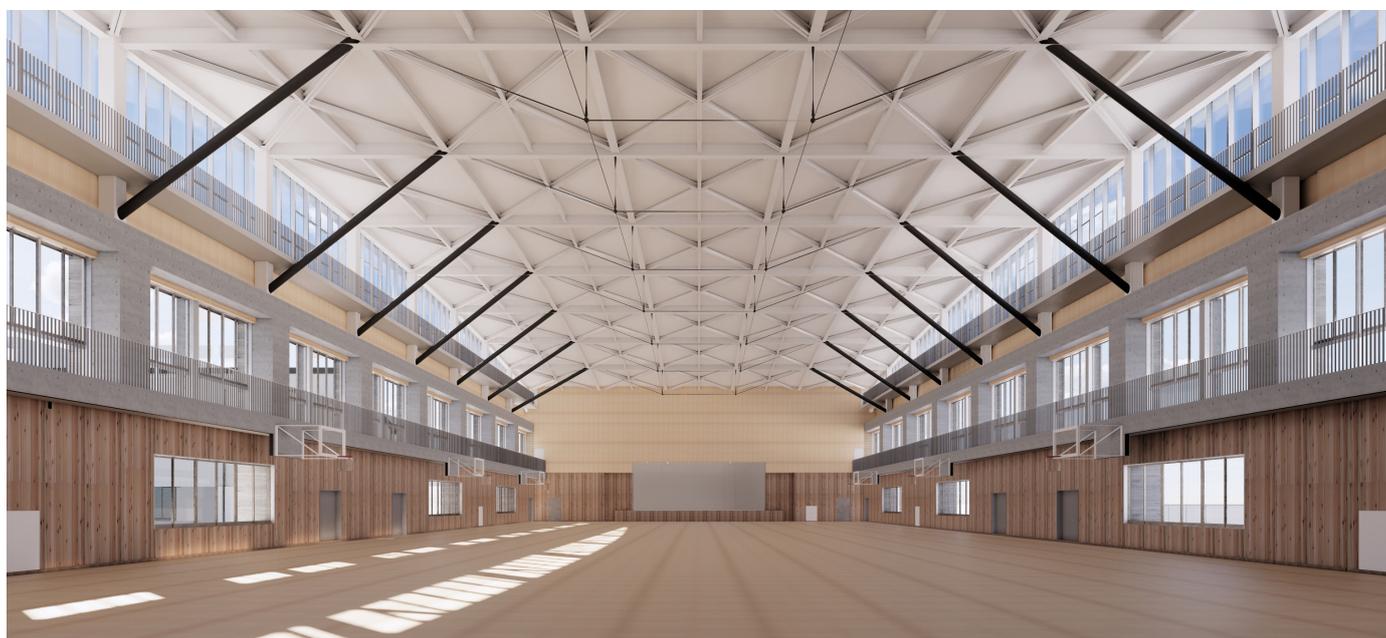
栃木県立足利高等学校新校舎新築工事



【ソフィアコート 内観イメージ】



【図書館 内観イメージ】



【体育館 内観イメージ】